

平成 31 年 3 月 8 日

平成 30 年度地域団体商標ブランディング推進事業による 新商品開発のプロデュース支援の結果

近畿経済産業局は、平成 28 年度から、地域団体商標を使った効果的なプロモーション活動を支援する事業を実施しています。

今年度事業では、「丹波篠山黒豆」、「出石そば」、「大和肉鶏」、「淡路島 3 年とらふぐ」、「紀州勝浦産生まぐろ」を使用した新商品の開発を支援しました。

1. 丹波篠山黒豆

丹波ささやま農業協同組合（権利団体）は、さらなるブランド力向上のため、若い女性向け商品を企画し、丹波篠山黒豆入り洋風お菓子「パウンドケーキ」、「ビスコッティ」の2つの新商品を開発しました。

2. 出石そば

出石皿そば協同組合（権利団体）は、顧客層の拡大を狙って、若者向け商品開発に取り組みました。「出石そば」を加工し、「低糖質そば」、「揚げ菓子」をそれぞれ新商品として開発。特に「揚げ菓子」は、そばを塩、唐辛子等の香辛料で味付けし、おつまみ風にアレンジしています。

3. 缶詰加工（おつまみ缶の開発）

各権利団体等と支援企業（国分西日本株）が連携し、地域団体商標の登録商品を使用した“地域のおつまみ缶”3種を開発しました。

（1）大和肉鶏（権利団体：大和肉鶏農業協同組合）

「大和肉鶏」を甘辛煮し缶詰加工。栄養価で注目を集める“むね肉”を、食べやすく仕上げて需要拡大に取り組みました。

（2）淡路島 3 年とらふぐ（権利団体：福良漁業協同組合）

「淡路島 3 年とらふぐ」を煮こごりにして缶詰加工。一般に流通していなかった、ふぐの身と皮の中間部位を材料として開発しました。

（3）紀州勝浦産生まぐろ（出願団体：勝浦漁業協同組合）

「紀州勝浦産生まぐろ」を塩麴漬けし缶詰加工。冷凍まぐろではなく、生のまま水揚げされた”生まぐろ”を缶詰用に提供するのは、日本で初めての取組です。

<参考>

1. 地域団体商標ブランディング推進事業の内容

近畿経済産業局は、平成 28 年度から、地域団体商標を活用したブランド戦略を構築したい団体に対して、ブランディングに関する専門家(今年度は、スターフードジャパン(株)、和歌山市)を派遣し、新商品開発から販路開拓に至るノウハウ提供などの支援を行っています。今年度は、(1)伴走型ブランディング支援、(2)企業連携型ブランディング支援を実施しました。

(1) 伴走型ブランディング支援 (丹波篠山黒豆、出石そば)

公募で選ばれた権利団体に対して、個別にワークショップを開催する等により新商品開発を支援するもの。

(2) 企業連携型ブランディング支援 (おつまみ缶)

新商品開発後に販路開拓支援ができる企業と地域団体商標の権利団体等とが連携し、新商品開発に取り組むもの。

2. 地域団体商標に関する近畿の状況

地域団体商標は、全国 646 件登録、そのうち近畿は 161 件で、中でも京都府は 63 件と登録件数は日本一(平成 31 年 1 月 31 日現在)です。

低糖質そば、黒豆パウンドケーキ



おつまみ缶の開発



(本発表資料のお問い合わせ先)

近畿経済産業局 地域経済部
産業技術課 知的財産室 室長 川上
担当者: 田中、藪田

電話: 06-6966-6016(直通)

FAX : 06-6966-6064